



糖鎖科学ポータル GlyCosmos Portal の開発

○塩田正明¹、小野多美子¹、細田正恵¹、土屋伸一郎¹、クオカ・ズカ¹、李宣明¹、三浦信明²、平木愛子²、渡辺由³、安形清彦⁴、藤田典昭⁴、鈴木芳典⁴、新町大輔⁵、青木ポール信行⁵、金進東⁶、奥田修二郎³、成松久⁴、山田一作²、木下聖子¹

¹創価大学、²野口研究所、³新潟大学、⁴GL-i、⁵SPARQLite、⁶DBCLS

JST 国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

NBDC
National Bioscience Database Center

INTRODUCTION

- GlyCosmos Portal は、リポジトリとデータベースを兼ね備える、糖鎖科学ポータルである。
- 糖鎖、複合糖質（糖タンパク質、糖脂質）、糖鎖関連遺伝子など、関連するデータベースを統合し、ポータルサイトとして情報を提供することを目的としている。
- 我々の開発してきた国際糖鎖構造リポジトリ GlyTouCan[1]により、科学者は糖鎖を登録し、出版物に使用するアクセション番号を取得することができるようになった[2]。このアクセション番号を用いれば、GlyTouCan パートナーとして、糖鎖データベースを簡単に相互リンクすることができ、GlyTouCan の糖鎖エントリーページから、各データベースへ繋がることが可能となっている。

- また、GlyCosmos では、GlyTouCan だけでなく、GlyComb と呼ぶ新しい複合糖質構造リポジトリ、そして、グライコプロテオミクスデータのリポジトリである GlycoPOST の開発も進めている。
- さらに、GlyCosmos データベースは、ACGG-DB をはじめ、多くのリソースを統合している。
- 複合糖質や糖鎖関連遺伝子が関与する反応において、糖鎖の位置付けを明確にする GlyCosmos Pathways では、Reactome[3][4] から取得した、糖タンパク質が関与するパスウェイ情報が RDF 形式で格納されており、可視化ツールを開発している。
- また、GlycoNAVI - GlycoAbun では、UniProt によって開発された ProtVista[5] をさらに拡張し、糖鎖付加部位においての存在比と関連情報を可視化できるようになっている。

The central image shows the GlyCosmos Portal homepage with a green header "Welcome to GlyCosmos! As a foundation for integrating glycoscience research, we have started developing the Glycoscience Portal called GlyCosmos." Below the header are several sections: "Submissions" (with GlyTouCan and GlyComb links), "Resources" (Database, Genes/Proteins/Lipids, Glycans/Glycoconjugates, Ontologies, Pathways/Diseases), "News" (Twitter feed), "Other Related Resources" (GlyConnect, iPOST, PDB, PubChem, UniCarbKB, UniProt), and "Glycomes Databases" (GlycomeAtlas, Total Glycome Database). Arrows point from surrounding panels to specific features on the main page.

Genes/Proteins/Lipids Databases

- Genes**: ACGG Database (ACGD), GlycoGene Database (GGDB).
- Proteins**: ACGG Database (ACGD), GlycoProDB (GPDB), GlycoAbun Database.
- Lectin Database**: Glycosmos Lectin Database.
- Ontologies**: GlycoDFO, GDOnto.

Glycosomes Databases

- Glycans**: Glycosome Database.
- Glycoconjugates**: GlycoAbun Database.
- Pathways/Diseases**: GlycoPOST.
- Notations**: WURCS.

Pathways/Diseases Databases

- Pathways**: GlyCosmos Pathway Database.
- Diseases**: ACGG Database (ACGD), Glyco-Disease Genes Database (GDGDB).

DISCUSSION AND CONCLUSION

● 糖鎖科学研究から生成される情報を格納する基盤を構築し、研究を促進する。

● 糖鎖研究の初心者でも糖鎖について容易に調べられるポータルを作成し、幅広い分野の研究者が利用できるようにする。

● 利用者の興味・ターゲットのデータを調べるための使いやすいユーザーインターフェースを構築する。

● 全てのデータを RDF で連携することにより、海外のエンドポイントとの同時検索が可能となる。

● 米国 GlyGen プロジェクト、GlyConnect、UniCarbKB とも連携していく計画である。

● したがって、近い将来、GlyCosmos Portal にアクセスするだけで、糖鎖構造とその機能を把握することができるようになる。

REFERENCES

- K. Aoki-Kinoshita, et al., *Nucleic Acids Res.*, **2016**, *44*, D1237-42.
- M. Tiemeyer, et al., *Glycobiology*, **2017**, *27*, 915-919.
- A. Fabregat, et al., *Nucleic Acids Research*, **2018**, *46*, D649-D655.
- K. Sidiropoulos, et al., *Bioinformatics*, **2017**, *33*, 3461-3467.
- Xavier Watkins, et al., *Bioinformatics*, **2017**, *33*, 2040-2041.
- Y. Konishi, et al., *Bioinformatics*, **2016**, *28*, 2849-2850.
- A. Calderone, et al., *Bioinformatics*, **2018**, *34*, 2684-2686.

ACKNOWLEDGEMENTS

本研究は、科学技術振興機構（JST）、バイオサイエンスデータベースセンター（NBDC）ライフサイエンスデータベース統合推進事業「統合化推進プログラム」の助成を受けています。